

【九州大学芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース】 (2020 年度入学者)

1. 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

A) 関心・意欲・態度

- ・既成概念にとらわれることなく、新たなデザインの分野を切り拓こうとする挑戦的な態度を持ち、実践しながら探求、実証しようとする志向性を有する。

B) 知識・理解

- ・芸術、技術、思想の歴史と理論を理解し、現代の社会や人間のありようを説明し、未来社会を構想するために必要な知識を有する。

C) 能力・技能

- ・情報科学を理解し、自然や社会における多様な現象を情報として数理科学的に捉える能力を持ち、生命現象の背後にある自然の仕組みを理解する能力を有する。
- ・芸術的表現方法を修得し、豊かな発想、デザイン実践に結びつける創造的能力を有する。
- ・新しい分野を切り拓き、新しいものをイメージし、文脈を作り、それを表現できる能力を有する。

2. 教育課程の編成 (カリキュラム・ポリシー)

- ・本コースでは、低年次において基礎科学やデザインリテラシーの授業とともに、新たなデザイン分野を切り開くために自然科学、情報科学、社会科学、アート・デザイン等の分野の基礎的な知識を修得させるための教育科目を配置する。
- ・その後、近い未来の社会のありようを想起するため、芸術、技術、思想の歴史と理論等の知識を修得させ、アート&デザイン、社会構想、情報・生命の科目群で構成していた専門科目によって未来を構想、デザインする能力を養う。また深化・展開科目として他コースの科目を集中的に履修することで具体的なデザイン対象に習熟し、融合プロジェクト・プラットフォームでの演習を通して実践的な知識やスキルを修得させる。

3. 入学者選抜方針 (アドミッション・ポリシー)

- ・近い将来の我々の社会のありように関心を持ち、既成概念にとらわれることなく、新たなデザインの分野の開拓や表現活動への挑戦と創造への強い意欲を有する。
- ・よりよい社会を構想するために、芸術、技術、思想に関する知識と、自然や社会を数理科学的に捉える生命科学、情報科学に関する知識を修得するために必要な基礎学力を有している。
- ・社会的な課題に関心を持ち、論理的な思考力と実証的な志向性を有する。